

## 2013年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2013年2月11日（土・祝日）

場 所：千葉市生涯学習センター

出席者：80名、委任者数：154名 計234名、会員数：319名（2月10日現在）

特別講演：「里山の魅力を伝える」（司会・講師紹介：木下順次）13：00～14：45

講師：ケビン・ショート氏＜東京情報大学環境情報学科教授・ナチュラリスト＞

総会（司会・進行：井上智史）

15：00～16：20

議題：12年度行事報告・会計報告、13年度行事・予算案提案、役員改選など

議長：龍門海行（柏市）、書記：莊子淑子（四街道市）川瀬美幸（柏市）

特別企画：自然観察会「協働による公園づくり」

09：45～11：45

講師：斉藤久芳＜千葉市中央・稲毛公園緑地事務所長＞

担当 盛一昭代 参加者数：25名

懇親会：千葉市生涯学習センター内「うのまる」

16：30～18：30

担当 盛一昭代・三嶋秀恒 参加者数：50名

**特別企画：**斉藤久芳氏は、昭和の森の観察会や大草谷津田の観察会の実現に尽力いただいた方です。今回は、親しみ愛される千葉公園をめざしている活動について、市民との協働で公園づくりを行い、来園者へのサービスの充実、情報発信の充実などに努めていることなどのお話をいただきました。園内には、660本のサクラ・夏の大賀ハス・秋にはモミジやイチョウなどの紅葉・黄葉が鑑賞でき、冬には綿打池にカモやカモメが訪れ、松の雪吊りが飾られるなど、四季を通じて自然とふれあい、楽しめる約16haの総合公園です。

**特別講演：**ケビンさんは、アメリカ生れの文化人類学者で、日本の自然のすばらしさに魅かれ、現在は印西市に住み、里山の環境保護に熱心に取り組んでいます。日本にはおよそ7000種類の植物が自生しており、関東には谷津や谷津田が多くあり、その景観は素晴らしく、いろいろな生物がみられるところです。里山は持続可能に維持管理される森林・草原・水辺・建物で、萌芽林・竹林・茶畑・栗畑・牧草地・萱場を言い、暮らしのある農村景観は、水田・放水路・溜池・畑・ラッカセイ畑・屋敷林です。たくさんの人たちに里山の楽しさや素晴らしさを知ってもらい、守っていきたいと考え、観察会では観察をして興味を持ってから名前を教えるようにしています。また、里山には自然だけではなく、青面金剛・道祖神・子安観音・弁財天などもあり、霊的景観としての社寺林・水神信仰も含めて、縄文時代や弥生時代での里山のルーツを知ることに大変興味を持っているとお話でした。

**総会：**小西代表からの挨拶の後、龍門さんが議長、莊子さんと川瀬さんが書記に選出されて、議事進行しました。行事報告は小西代表からPPTを使用して、詳細に分りやすく発表があり、会計報告は浦部さん、会計監査報告は嶋野さんから発表があり、承認されました。行事案内は、昭和の森観察会・東葛しぜん観察会・受託事業等・SSN 関連・研修会等および予算の提案で、それぞれの担当役員からの熱のこもった説明があり、承認されました。去年はNACS-J自然観察指導員講習会が開催され、38名の方が入会されました。

今年は役員改選期で、山田益弘・山下美佐子・山岸文子・佐藤一枝さんが新任で、岩澤とし子さんが会計監査に就任されました。赤木光明・河添寿子・芳我めぐみさんが退任され、皆さんの長期に亘る担務はご苦労様でした。

**懇親会：**去年に引き続き1階の「うのまる」に場所を移し、たっぷりの食事と飲み物で親睦を深め、NACS-Jの小林今日子さんからのお話もあり、久しぶりにお会いする方もいて、楽しい雰囲気でした。